

第29回 シングルス大会

大会日程 平成 21 年 4 月 4 日(日)
4 月 11 日(日)

予備日 4 月 29 日(祝)

試合会場 多摩東公園テニスコート
一本杉公園テニスコート
奈良原公園テニスコート
(奈良原会場には駐車場がありません)

主催 : 多摩市硬式庭球連盟

主管 : 多摩ニュータウンテニスクラブ

大会役員

大会会長	: 中山武士
副会長	: 黒部道夫、稲垣友三、松本透、山口鉄二男、阿部嘉典、小幡秀雄、上原正嗣
理事長	: 徳本 正雄
大会実行委員長	: 高城 務
副委員長	: 高橋 忠夫
委 員	: 勝山泰介、高橋忠夫、上田浩一郎、山口勝弘、副島哲男、堀江和生、青木繁延、 蜂谷伸一、古口知子、橋本奈緒子、藤平幸子、仙北屋妙子、小泉志賀子、田中聖子、 木村君代、矢形悦子
レフェリー	: 鈴木隆文、黒部道夫、高橋忠夫、上田浩一郎 (ローピングアンパイア兼務)

試合要綱・注意事項

1. 男子Aの1回戦(1R)から準々決勝(QF)まで、及び、男子Bの1回戦(1R)から準決勝(SF)までは、6ゲーム1セットマッチ(ゲーム1回の後ノーアドバンテージ、6-6で12ボールタイブレーク)とし、男子Bの決勝戦は8ゲーム1セットマッチ(8-8で12ボールタイブレーク)とする。男子Aの準決勝は6ゲーム1セットマッチ(6-6で12ボールタイブレーク)、決勝戦は6ゲーム3セットマッチとする。
女子・壮年の試合は、1回戦から準決勝まで、6ゲーム1セットマッチ(ゲーム1回の後ノーアドバンテージ、6-6で12ボールタイブレーク)、決勝戦は8ゲーム1セットマッチ(8-8で12ボールタイブレーク)で行います。
(但し、当日の試合進行上変更もあり得ます)
なお、いずれの試合も3位決定戦は行わず、準決勝の敗者を3位とします。
2. 出場者は、定刻まで(試合開始時間10分前)に本部に出席を届けるものとし、試合のコールがあった時は、すみやかに定められたコート内に入場して下さい。
コール後、3分以内にコート内に入場しない時は、試合放棄とみなします。
3. 全試合セルフジャッジで行います。プレーヤーの方々は、テニス規則・倫理規程を遵守することを最優先にプレーして下さい。
決勝戦もセルフジャッジとしますが、主審をつけたオーバーコール方式で行います。
ローピングアンパイアが試合を巡視します。アンパイアの指摘があった場合は従って下さい。
4. 試合用ボール(ダンロップフォート・イエロー)は、本部より支給します。試合終了後、使用済みボールは敗者がお持ち帰り下さい。
5. 試合前のウォームアップは、サーブ4本のみとします。
6. 試合終了後、勝者は結果(スコア)を本部に報告して下さい。また、多摩東公園コートで試合をした選手は、試合終了後コートの整備(ラインの清掃)をお願いします。
7. 雨天の場合、以後の試合日程などの変更は「多摩東公園テニスコート」に掲示します。
8. 天候不順等により、途中から試合方法を変更する事があります。
9. けいれん・ケガなどによる試合の中断は、一回限りとし、時間は5分以内とします。
10. 障害等を負った場合、主催・主管では一切の責任を持ちません。各人の責任で処置して下さい。
11. 天候・日没などによる試合の中断は、大会本部の判断によるものとします。
12. 準々決勝へ進出の選手が棄権した場合は、その直前の試合の敗者が繰上げ出場できるラッキーローザー制度を設けます。但し、その直前の試合の敗者が当日会場にいて試合ができる場合に限りです。

13. その他の細部については、日本テニス協会のルールに準じます。